



写真7 つけ根型 (A)

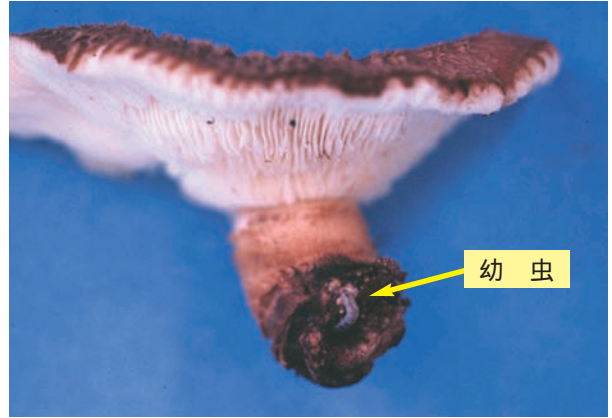


写真8 石突きから穿入する幼虫 (A)



写真9 ひだ型の穿入痕 (C)

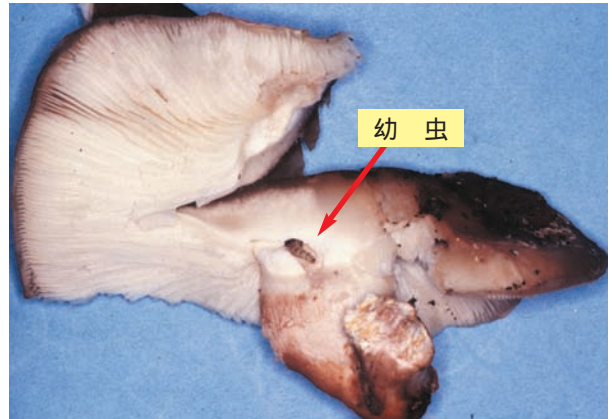


写真10 かさの内部に生息する幼虫 (C)

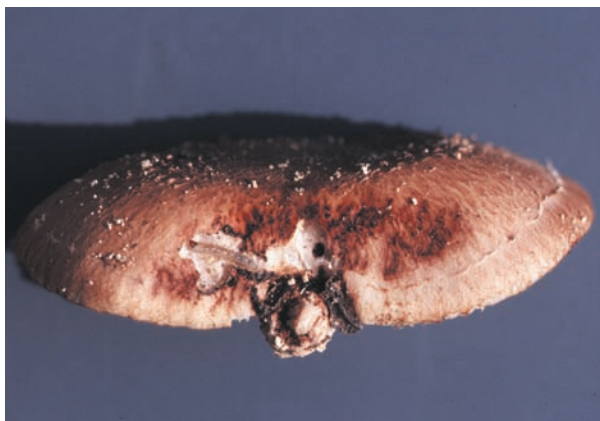


写真11 接触型 (B)

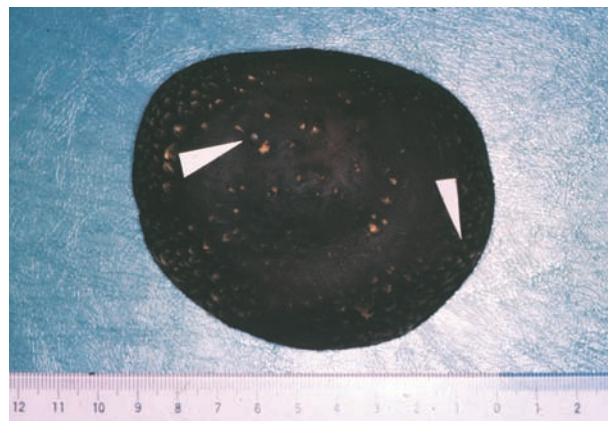


写真12 かさ上部型の穿入痕 (E)

写真 幼虫によるシイタケ子実体の被害型



写真13 幼虫生息のサイン“虫ふん”
(自然栽培)



写真14 幼虫生息のサイン“虫ふん”
(不時栽培)

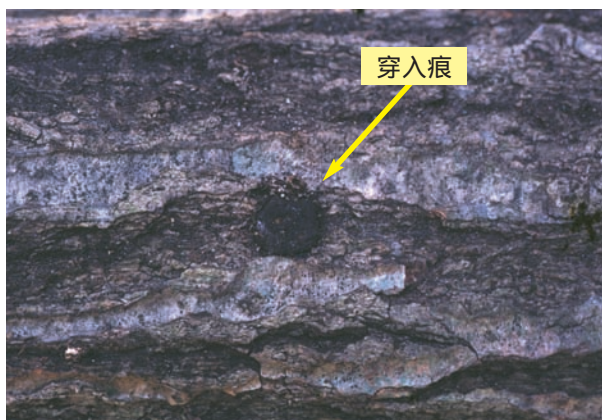


写真15 種駒への穿入痕

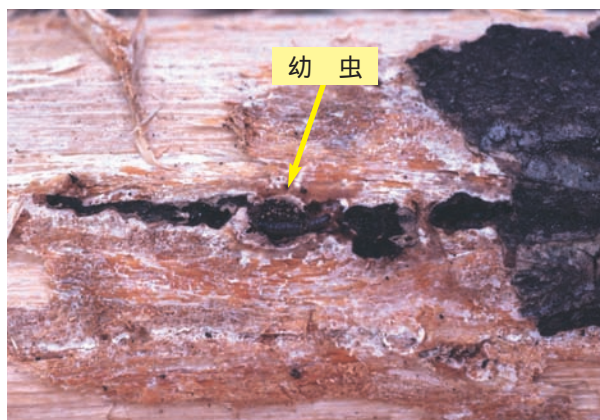


写真16 樹皮での幼虫の生息



写真17 木部への穿入



写真18 浸水操作後に身を乗り出した幼虫

写真 幼虫のシイタケほだ木での生息

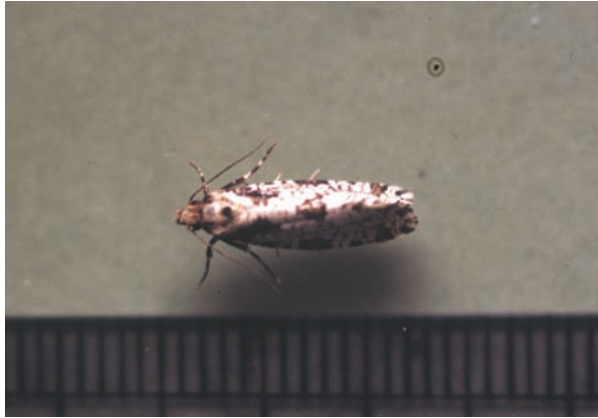


写真19 成 虫

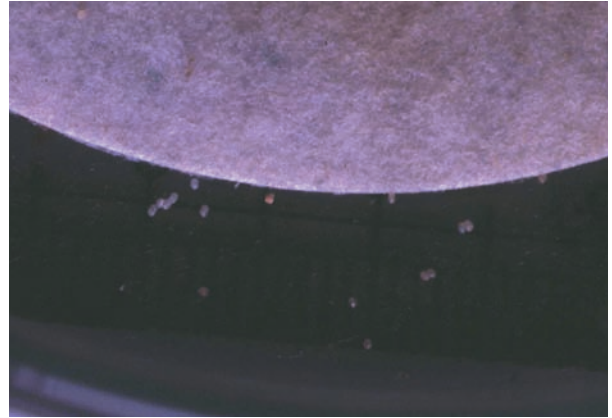


写真20 卵

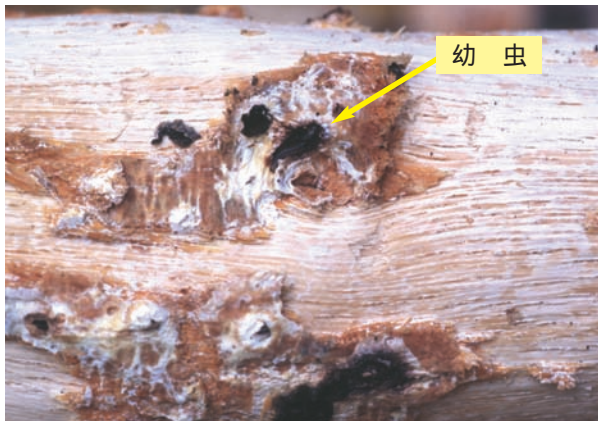


写真21 穿入初期の幼虫（褐色部分）



写真22 樹皮からの脱出殻



写真23 樹皮上に作ったまゆからの脱出殻

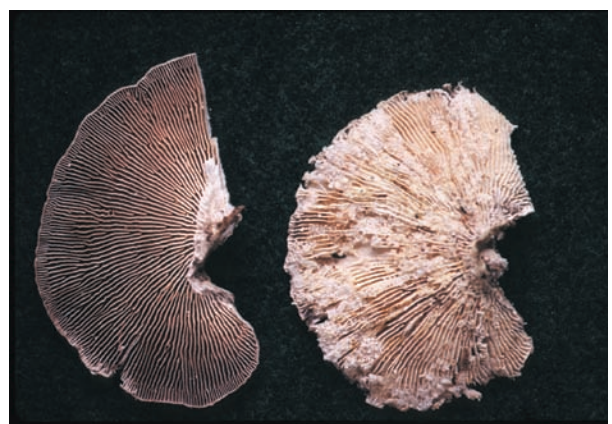


写真24 カイガラタケでの幼虫の生息
（左：生息無 右：生息有）

写真 シイタケオオヒロズコガの生態